記者発表資料

がんばろう！東北

平 成 ２ ４ 年 １ １ 月 ２ 日
国土交通省東北地方整備局
磐 城 国 道 事 務 所

国道6号久之浜バイパスの久之浜こ線橋で橋梁架設を行います。

国道6号久之浜バイパスは、平成27年度全線2車線供用を目標に工事を進めています。現在施工中の久之浜こ線橋では11月5日から11月12日にかけて橋梁架設（新しい橋の橋桁を架ける作業）を行います。

久之浜こ線橋の橋梁架設は、現在事業中の久之浜バイパスにおいて最初の鋼橋（鋼鉄製桁の橋梁）架設となります。そのため、作業公開を行います。

1. 作業公開日：平成24年11月8日（木）午後1時30分～午後3時
※作業は、荒天の場合、中止することもあります

2. 場　　所：国道6号久之浜バイパスの久之浜こ線橋(橋長148m、幅員11m)現場
※別紙の位置図を参考にしてください。

3. 架 設 期 間 :平成24年11月5日（月）から 11月12日（月）まで（予定）

4. そ の　他 :作業公開(11/8)に見学される場合は、現場担当の芳賀俊之監督官(下記)までご連絡願います。(ヘルメットをご用意いたします。)

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　磐城国道事務所
ＴＥＬ　０２４６－２３－２２１１（代表）

副　所　長　柴田　孝助　（内線204）

工 務 課 長　嶋津　君雄　（内線411）

建設監督官　芳賀　俊之　（内線501）

発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市広報広聴課、
福島建設工業新聞

久之浜こ線橋の架設について

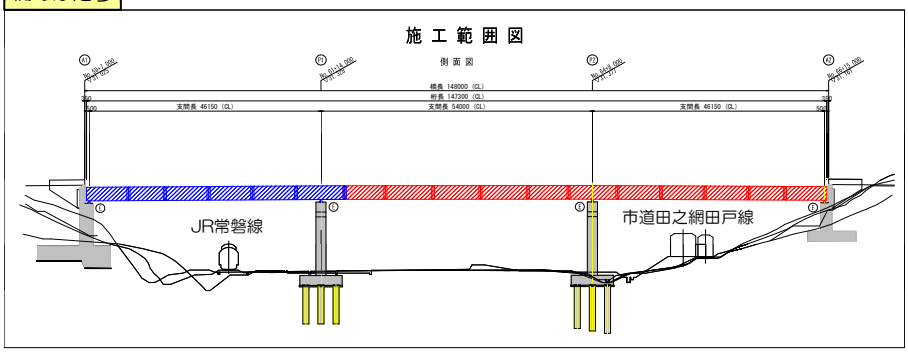
1. 作業公開場所案内図





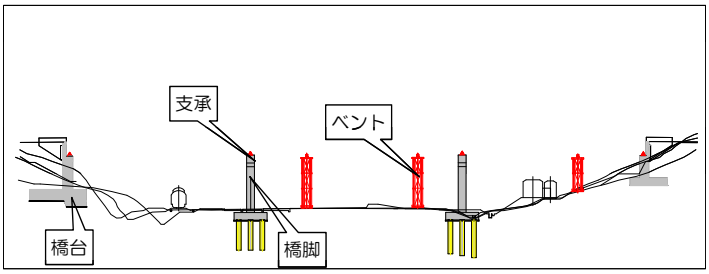
2. 久之浜こ線橋の架設の説明

橋のかたち



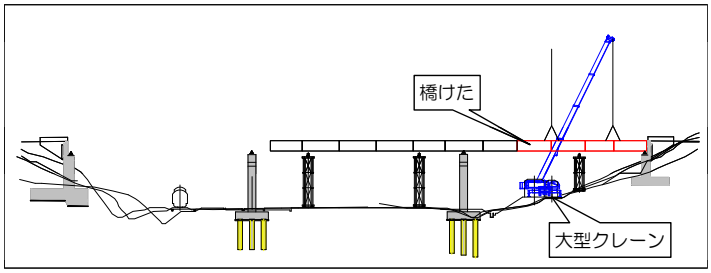
橋が架かるまで

STEP-1



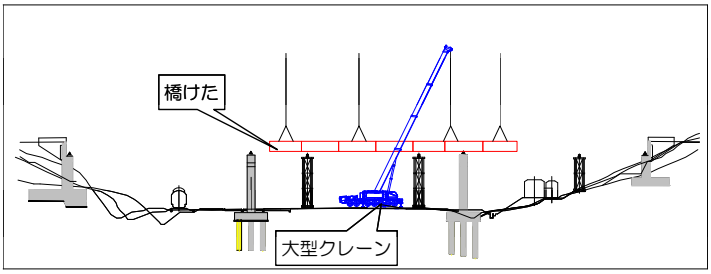
まず、橋台や橋脚に橋げたを固定する「支承」という部材を設置します。
次に、橋が架かるまでの間、仮受けして支える「ベント」という支柱を設置します。

STEP-3



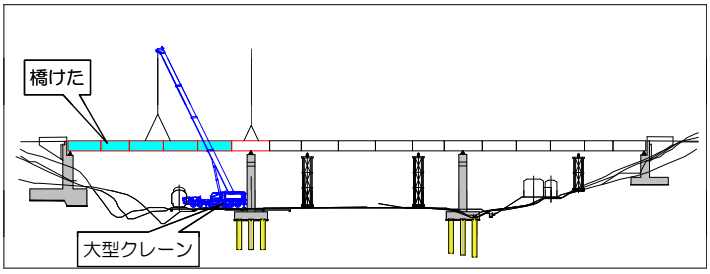
市道田之網田戸線の上の部材を繋いでいきます。
この作業は、市道上に大型クレーンを設置しますので、通行止めが必要となります。通行の迷惑にならないように、交通量が減る夜間に通行止め規制をしながら橋げたを繋いでいきます。

STEP-2



工場で作られた橋げたの部材を大型クレーンで繋いでいきます。
橋げたの部材は、トレーラで運搬できるように約8~10mの長さで作られています。これを現場で強度の高いボルトで連結します。
ここで用いられるクレーンは、160トンを吊り上げることの出来る能力があります。

STEP-4



JR常磐線の上の部材を繋いでいきます。
この場所は線路があるためベント（仮受け支柱）を立てることが出来ません。そのため、橋げたの部材を5つ地上で繋いで（図の水色の部分）一気に架けます。ここで使うクレーンは、650トンを吊り上げることができる超大型のものを使用します。
この作業は、電車が走らない夜間に線路の電気を止めて行います。